

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第2区分

【発行日】平成20年7月31日(2008.7.31)

【公開番号】特開2007-121540(P2007-121540A)

【公開日】平成19年5月17日(2007.5.17)

【年通号数】公開・登録公報2007-018

【出願番号】特願2005-311462(P2005-311462)

【国際特許分類】

G 02 B 27/18 (2006.01)

G 03 B 21/00 (2006.01)

【F I】

G 02 B 27/18 Z

G 03 B 21/00 Z

【手続補正書】

【提出日】平成20年6月11日(2008.6.11)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

画像信号に応じて変調された複数のビーム光を走査させることにより画像を表示する画像表示装置であって、

前記複数のビーム光を供給する光源部と、

被照射面において、前記複数のビーム光を第1の方向と、前記第1の方向に略直交する第2の方向へ走査させる走査部と、を有し、

前記走査部は、前記第1の方向へ前記ビーム光を走査させる周波数が、前記第2の方向へ前記ビーム光を走査させる周波数より高くなるように駆動され、

前記被照射面に形成される前記ビーム光のスポットをそれぞれ前記第2の方向において点在させながら、前記複数のビーム光を順に走査させることを特徴とする画像表示装置。

【請求項2】

前記走査部は、前記被照射面の前記第2の方向の長さを前記ビーム光の数で等分割した長さと略一致する間隔で前記複数のビーム光を走査させることを特徴とする請求項1に記載の画像表示装置。

【請求項3】

前記走査部は、前記複数のビーム光を走査させる単独の走査部を備えることを特徴とする請求項1又は2に記載の画像表示装置。

【請求項4】

前記走査部は、それぞれ単独又は複数の前記ビーム光を走査させる複数の走査部を備えることを特徴とする請求項1又は2に記載の画像表示装置。

【請求項5】

前記走査部は、それぞれ異なる入射角度で入射する前記複数のビーム光を走査させることを特徴とする請求項3又は4に記載の画像表示装置。

【請求項6】

互いに異なる色の前記複数のビーム光を合成させて前記走査部へ入射させることを特徴とする請求項1～5のいずれか一項に記載の画像表示装置。

【請求項7】

同色の前記複数のビーム光を合成させて前記走査部へ入射させることを特徴とする請求項1～6のいずれか一項に記載の画像表示装置。